

私たちは

お風呂屋さんの
“再生大作戦”を
支援します。



since 1977

一級建築士事務所 株式会社 K設計工房

〒180-0003 東京都武蔵野市吉祥寺東町2-28-5

tel.0422-22-1244 / fax.0422-22-5554

E-mail : k-sekkei@sumai-machi.net

ご提案します。



ご挨拶

私たちはとても小さな設計事務所です。
会社の形をとってはいますが、いわば画家のアトリエと同じように、
いろいろな建物の設計の仕事に取り組む個人が、
その精魂を傾けてその一つ一つを丹念に行っています。
大きな組織事務所でなければ出来ない仕事はたくさんありますが、
私たちの方が適している分野を見出していただければ幸いです。

一級建築士事務所 株式会社 K 設計工房
代表取締役 川田伸紘

ミニマム・インフラを いろいろと整えよう！

現代生活を支える巨大なインフラストラクチャーに対して、それを基盤としつつも、より身近で日々の地域生活の利便性と快適さを支えるミニマム・インフラ、これを整備して“安全・安心のまちづくり”を行いましょう。

お風呂屋さんは、
ミニマム・インフラの一つです。

危険がいっぱいの 住環境！



- 国の調査レポートで改めて浮き上がった密集する住宅地の危険。
- 東京都内だけでもおよそ2,300ヘクタール。

都内人口は
約1,235万人、
銭湯1,300軒と
言われています。

お風呂屋さんの 営業基盤は、 密集住宅地！

- お風呂屋さんは、既成の住宅地にほぼ満遍なく、程よく点在して分布しています。
- お風呂屋さんは、多くの住宅地が周辺に無ければ営業が成り立ちません。
- けれども今、それらの住宅地と住生活は大きく変化して来ています。

お風呂屋さんと地域社会

私たちは提案します！



お風呂屋さん（公衆浴場）の**今**と**これから**
いくつもの大きな“存在の価値と意義”

それは、

～地域のみなさんの**健康**と**福祉**、**コミュニケーション**の中核～

～地域のみなさんの“**いざ**”という時（イベントや災害対応）、その**拠点**～

地域の健康を支える、とは？



今さら言うまでもなく、これまでお風呂屋さんの皆様が培ってこられた浴場としての営業とサービスをさらに一層高め、内風呂のない方は勿論、ある方々にとっても健康・衛生に支えられた快適な時間・場を提供するという、最も基本的なサービスにほかなりません。ゆったりとしたくつろぎの得られる場に仕立て上げ直しましょう。

また、高齢の方や身体に支障がある方など、お独りでは入浴やお風呂場の手入れなどが困難な方々も多くおられます。

みなさんから「お風呂はあるけれど、いつも来ています。」と、是非言っていただこうではありませんか！



地域の福祉を支える、とは？

これからの社会は高齢者の比率が高まる、と言われてい
ます。私たちは健康であればあるほど「高齢化」はさけられ
ません。

高齢化ばかりではなく、障害や怪我を負って、自分だけの
力では健康衛生を維持しにくくなることも想像されます。
まして、独り暮らしとなるとそれは深刻です。

品川区のある公衆浴場は、こうした地域のニーズに応え、
ディサビリティセンターの認定を得て活動を開始しています。
(私たちがお手伝いしました)

浴場を開店するまでの時間を有効に使い、地元のお年寄り
のために主として入浴介護サービスなどを始めることがで
きました。

そのために浴場全体の構えを改善し、相当程度のバリアフ
リー化を図っています。
(そのことだけでも、入浴のお客さんが20%近く増加した、
と、嬉しいお知らせでした。)

みなさんの地域でも、お風呂屋さんへの期待には、きっと
たくさんものがあります。
それは営業と経営をも支える大きな契機でもあるのです。



コミュニケーションの場、とは？

昔からお風呂屋さん、地域の話が賑やかに語り合われる、そんな場でした。情報過多と言われる時代に「何を今さら」、という風に思われる方もいます。けれども、現代の情報の多くはその情報の受け手である私たちのためであるよりも、発信している側の利益のためであることの方がはるかに多いようです。地域に暮らす私たちは、自分達にとって必要で大切な情報をお互いに交流し合いながら見出して、暖かな触れ合いで育みあう、そのように新しい場を必要としています。



コミュニケーションの場を盛り上げる

お風呂屋さんの超巨大画面！

私たちが思い浮かぶのは、お風呂屋さんでおなじみのペンキやタイルで描かれたあの富士山の勇姿や湖の美しい景色です。

これらも懐かしく、大事にして行きたいと思いつつ、こういう提案もさせて下さい。

もしもこの大きな画面が固定した一枚の絵ではなく、様々な美しい映像や刻々のニュースや地域や行政からのお知らせなどに用いることができれば、どんなにか迫力があって素晴らしいことでしょうか？

私たちはその開発と実現のためにその専門メーカーや研究者とタイアップして努力しています。

この実際例の「画面」の大きさは、間口で約12.5m（男女各6.2m余）、高さは約2m（各256インチ大）です。



素晴らしいスペース
素晴らしいスペース

公的な対応や支援が大切

“いざ”という時の拠点、とは？

お風呂屋さんは昔から火事に祟られてきました。火の気があり、燃料も豊富です。しかも最近の予測では、関東・東海地方には関東大地震くらいの大きな地震がここ30年くらいのうちにほぼ確実に襲ってくる、とされています。

お風呂屋さんの建物の構造は、それにはとても心配なところがあります。なにしろ、浴場はもとより脱衣室も間仕切り無しの大空間です。入浴中のお客さんがいれば勿論、いない時でも、いつ訪れるか分からない震災に備え、この耐震性は是非とも確保しておく必要があります。さらに、多くのお風呂屋さんは木造建築です。長い間強い湿気や湯水にさらされて来ました。目につかない土台や柱の根元や小屋裏は、腐ったりしてはいないでしょうか？地震ばかりの心配ではありません。普段や台風の時などの備えにも平素の対策が必要です。しかし、これらをそれぞれのお風呂屋さんの判断と努力にお任せてしたままで良いでしょうか？その上、お風呂屋さんばかりではなく、地域全体で考えなければならないことも実はたくさんあるのです。これらにはどうしても公的な対応と支援が欠かせません。

地震に耐え、出火もせず、また類焼を免れることが出来れば、お風呂屋さんにはたくさんの水と火の用意があり、広い空間があります。お風呂屋さんですから当然に温かいお風呂にふんだんに入ることができます。これ以上良い“いざ”という時の拠点はあるでしょうか。（脱衣用のたくさんのロッカーや下足入もあり、とても便利です。）

また工夫次第では、もっと積極的に活用することができます。

脱衣室間の中仕切りがもしも動かせたりしたならば、とお考えになったことはありますか？二つに分かれた男女の脱衣室を一つの大きな空間にも使える。これは普段でも様々な用いることが出来るという、大きな可能性を羽ばたかせてくれます。

耐震性・耐久性の確保と空間可変性の展開、そしてバリアフリー化と地域福祉への対応。これらを私たちは提案し、その実現に向けて支援の努力を行います。



広く天井の高い浴場



脱衣室の広い空間



浴場脱衣室の中仕切り



脱衣室に続く屋外庭園

次の頁も見て下さ



私たちの提案のあらまし

まずはお風呂屋さんへ

併せて
行政サポートの拡大を！

お客さんが次第に減ってきている。
経営を続けてゆけるだろうか？
続けられるとして、後継ぎは？
そのような不安はありませんか？

今まで来てくれているお客さんも
大切ですが、まだ来ていただいて
いない“**これからのお客さん**”の
ことも考えてください。皆さんの
地域にはそういう方々は**大勢**おら
れ、**それを待っている**、のです。

お風呂屋さんの存在と営業は、法律（公衆浴場法・公衆浴場特措法）にも書かれている通り（*）、地域社会の生活にとって欠かすことができません。しかも、これからの高齢化や地域社会の活性化や防災対応などを考慮すれば、存在意義の質的転換を支援して図りながら、より一層それを拡大させてゆくことが期待されます。お風呂屋さんを**これからの新しい地域のコア（拠点）へと育てて下さい。**

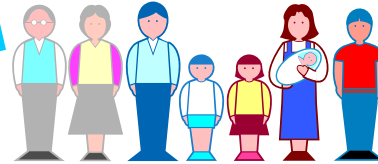
（*）公特措法第1条で、公衆浴場は「住民の日常生活において欠くことのできない施設である」と規定。

提案の具体的な中味は？

1. お風呂屋さんの**今後**という**目標**をしっかりと考え、今の建物や設備の活用の方向と内容を検討して、全体的長期的**計画**を立てる。
(すべてを以下と統合して実行できるのは、実績のある私たちです。)
2. 建物の**耐震性**と**防火性**を改善して高め、建物の**耐久性**(寿命)を延長させる。(耐震診断や耐震補強、腐朽損耗箇所等の補修)
3. 様々なお客さんの身体的諸条件や利用上の**便利さ**と**快適性**を考慮した改善を図る。(バリアフリー化の促進や施設の機能整備拡充)
4. 行政庁や関係諸機関との**連携**を高め、**支援**も受けながら、**協働**してこれからの地域社会生活の**基盤づくり**の一環を積極的に担って行く。(担当窓口での折衝や助成金申請、所要書類の作成など)

ミニмумインフラの整備を！

より身近な生活基盤の確立



- お風呂屋さんは、地域の廃棄物の最終処理場にもなります。循環の輪をお風呂屋さんが結びあわせることができるのです。
- これにもしもバイオマス資源を受け入れられるとするならば、...
そうです、可能性は大きく羽ばたきます。
地域としてのエネルギー再生循環型システムの基盤が成立可能です。
- つまり、お風呂屋さんは地域にとって「健康・福祉・情報・防災」の拠点であることに加えて、「エネルギーとリサイクル」のセンターにも変わって行き得るのです。
地域生活の基盤をその地域があらかたまかなえるのです。
- これらは《ミニмумインフラ》のすばらしい整備と言えます。

まずは、実施例をご覧ください。



完成後の外観（日中）



改修前の外観

既存の浴場の改修です！

完成後の外観（夜間）



既存の浴場の改修です！

実施例の内観です。



庭園
(完成後)



ホール
(完成後)



入口 脱衣室
(完成後) (完成後)

玄関先はこのようにしました。

既存の浴場の改修です！



軒の連なりと白壁、並ぶ明かりで
通りの賑わいを醸し出します。
別の写真に夜景があります。



サイクルガードは自転車の盗難防止にも役立ちます。
屋外の段差を無くし、玄関先に手摺を設置しました。



深くした軒先は、デイサービス来訪者が
送迎車から乗降する際にも助かります。



玄関先に設けた手摺です。金属製なので、
冬にはちょっと冷たいですね。
改善しましょう！



玄関のドアには、敷居やレールの出っ
張りがありません。
入って正面は新調の下足入れ。



レールが無いので、躓きません。
お掃除もし易くなりました。
舗装は昔の材料をそのまま用いています。

玄関に入るとホールは このようになっています。

既存の浴場の改修です！



外から見渡せる玄関先の内外。サポートが必要なお客さんの様子をわかり易くしています。



上り框は3段に分けて段差を少なくしました。脇には両側に手摺のあるスロープもあります。



スロープの傾斜を出来るだけ緩やかにするため、何度も検討と工事をし直しました。ガラスは視線と破損時の飛散防止を考慮。



上り框のある段差やスロープには手摺を付けたり、足元灯も付けています。スロープの床は勿論滑り防止用の素材です。



通路への入り口にはタテ手摺、飾り棚の補強材もタテ手摺の代わりを發揮できます。



通路内部にも手摺と足元灯を付けて、不案内と不安感を和らげています。



静養室・相談コーナー・多目的ルームは このようになっています。



可動の衝立と可動式ロッカーで囲こみ、ベッドをしつらえれば静養室に早変わり。
静養室ができれば、残りが多目的ルームで活用できます。
ロッカーは銭湯で用いてきた脱衣棚にストッパー付きのキャスターを付けただけです。
新規に用意したものは、ベッドと衝立2台です。



相談コーナーは、格納されているアオーディオンカーテンと2枚の引き戸で作れました。

ここでも新規に用意したものは、机・椅子だけで済みました。



デイルーム

食堂・機能訓練室は このようになっています。

既存の浴場の改修です！

デイルームの庭園



軽い全身体操でリラックス

それぞれのお楽しみ...



脱衣室からデイルームに変身
昼食もここでいただけます。

スプーンゲームで
楽しいリハビリを...



浴場へはこのようになっています。



ドアが閉じて
いる状態。
(浴場内部か
ら)



ドアには縦型の大きな引き手をつけました。また、ガラスには、その存在を示すことを兼ね、万一の際に備えて飛散防止用のフィルムを貼っています。



脱衣室・小流し・浴場の各床面を殆ど段差が無く平らにすることが出来ました。浴場との境の半自動ドアは上吊型で下のレールを無くし、そこに排水枡を設けて細かで滑り止めのついたグレーチング蓋を用いました。小さなお子さんが滑ったり指が挟まる心配もありません。

細かなところにも気を配っています。

既存の浴場の改修です!



玄関先の深い軒は車の乗降に雨の日も安心



白壁と和瓦が醸し出す穏やかな佇まい



下足入れ



親子連れやオシャレなブーツもOKの下足入れ



中棚を跳ね上げて長いブーツもOK

中棚



中棚を下げてお子さんと一緒に利用



トイレに安全なL型手摺



白壁に囲まれて落ち着いた庭園

シンボルマークや看板もつくりました。



浴場の看板



ロゴデザイン：宗正隆氏

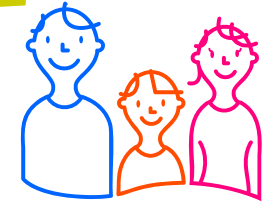


デイサービスセンターと
浴場の看板



送迎車のシンボルステッカー

このプロジェクトは次第に
関心を広げつつあります。



- 品川区で一箇所実現しました。
- 都内各地の自治体に支援を呼びかけています。
- 浴場業界にも訴えかけています。
- 都内M市のある銭湯で、第2番目の取り組みが始まりました。
- 同じくS区の銭湯でも多面的に取り組みを検討しています。
- いくつもの輪が結ばれ合ってゆくとき、地域はすみ続けることに安心できるまちに変わってゆきます。

私たちはお願いします。

地域を活性化させ、

その健康・福祉・コミュニケーションと

防災などの地域の拠点をつくるため、

お風呂屋さんの再生大作戦を支援する、

私たちの提案にどうかご協力ください。

一級建築士事務所 株式会社 K設計工房
代表取締役 川田伸紘